

「千葉市シェアサイクル事業」を共同実施する事業予定者が決定しました！
～ 更なる利便性の向上により公共交通を補完するサービスへ ～

千葉市では、公共交通を補完する存在となりつつあるシェアサイクルの更なる利便性の向上を図るため、令和2年2月から本格実施するシェアサイクル事業を共同で実施する事業者を、公募型プロポーザル方式により募集しました。

このたび、事業予定者を決定しましたので、お知らせします。

1 事業予定者

(1) 名称

オープンストリート株式会社（東京都港区東新橋1-9-2 汐留住友ビル27階）

(2) 選定方法

参加表明のあった上記1者について、市職員（5名）で構成する選定委員会で、提出された企画提案書を基にプレゼンテーション及びヒアリングを実施し、選定。

2 提案概要

実証実験で浮彫りとなった課題の解決など、事業予定者からの提案のうち評価した主なポイントは以下のとおり。

- ・事業開始5年以内に、市内1,000ステーション以上、自転車台数3,000台以上の規模に拡大（事業開始3年以内に単年度黒字化見込み）
- ・電動アシスト付き自転車のバッテリー切れ対策として、現状の人手によるバッテリー交換から、充電ステーション導入による自動化（自動販売機や宅配ロッカーのベンダーと連携することで電源を確保）
- ・ステーションの満車対策として、時間帯別の満車発生状況を分析し、AIによる自転車再配置の運用を行い、各ステーションの自転車在庫数を最適化
- ・鉄道事業者、コンビニエンスストア、銀行等との連携体制の強化により、JR総武線各駅周辺の民有地ステーション整備を積極的に推進
- ・日中利用増の取組みとして、学生や法人向けに定額制等の利用促進プランを導入
- ・地域経済活性化の取組みとして、地元企業へのメンテナンス作業の委託や、ちばシティポイント（ちばポ）との連携を実施

3 千葉市シェアサイクル事業概要

(1) 実施期間

令和2（2020）年2月1日～令和7（2025）年3月末（予定）

(2) 実施体制

主 体	千葉市（実施主体）	OpenStreet 株式会社（運営主体）
役 割	<ul style="list-style-type: none"> ・事業全体の総括 ・公共のステーション用地確保（占用料を免除） ・関係者調整（交通事業者、自治会等） ・市民等への周知（ホームページ、市政だより等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・施設及び器材整備 ・民間のステーション用地確保 ・シェアサイクル事業の運営 ・違法駐輪対策 ・利用者アンケート・データ収集等 ・利用者への周知広報

※本事業の運営に要する費用はすべて事業者の負担とし、千葉市は補助金、委託料、その他一切の費用を負担しない。

4 スケジュール

令和元年10月	1日	実施要領の公表・配布開始
	10月24日	企画提案書の受付期限
	11月7日	プレゼンテーション
	11月25日	選定結果公表
	11月下旬	基本協定書締結
令和2年	2月1日	事業開始

オープンストリート
参考 OpenStreet株式会社について

2016年11月にソフトバンクの社内ベンチャーとして設立。同月よりIoTを活用したシェアサイクルプラットフォーム「HELLO CYCLING（ハローサイクリング）」の提供を開始。電車やバスなどを下車した後のラストワンマイルの移動を支える補助交通として、各地に根差したシェアサイクルを発展させることを目的としている。

現在、全国175市区町村において事業を展開しており、ステーション数は2,300箇所を超える。また、自治体との連携として、全国53自治体と協定を締結。（いずれも2019年10月末時点の実績）

今後、全国の政令指定都市を中心に「HELLO CYCLING」を活用したシェアサイクルを展開することを目指している。

 OpenStreet

